

十和田古代馬絵巻

劇団かしの会 植田祐介



平成二十二年十二月四日土曜日。この日は東北新幹線全線開業を祝い県内各地が盛り上がった日であった。当日、十和田市でも開業を祝い、歓迎イベントとして本物の馬を使った野外劇「十和田古代馬絵巻」が上演された。通行止めにされた十和田市現代美術館前の官庁街通りには出演馬三十頭、出演者六十名が登場した。約八百名の観客が見守る中、約三分の芝居が繰り広げられた。筆者自身、出演者であったため、もちろん観ることはできなかったが多くのお客様に楽しんでいただけたと手応えを感じている。



他の地域では決して真似のできないイベントであったに違いない。十和田市が全国でも有数の馬産地であるということに加え、多くのスタッフ、キャストに恵まれた事が開催にこぎ着けた大きな理由である。十和田乗馬倶楽部、十和田馬術協会、駒っこランド、ウエスタンハットジャパン、アクシオンクラブ隼風、北里にんじんサークル、十和田・L・ステージクリエイト、劇団Intelvisia、パフォーマンsteam Player Seven、劇団かしの会等をはじめ多くの市民の協力無しでは為し得なかったイベントであった。

十一月七日のキヤスティング決め、台本読み合わせから始まり、本番までわずか六回という稽古日程。それに加え出演者のほとんどが演劇初体験という厳しい状況にあった。少ない稽古の中、私をはじめ劇団員から演技についての注文が飛ぶ。「台詞」「目線」「立ち居振る舞い」等々。出演者達はそれらの細かい注文を真摯に受け止め一生懸命に演じてくれた。それは写真に



写った彼らの表情から察することができる。

十和田市にとって今回のイベントはほんの序章に過ぎない。馬を活用した雇用拡大や馬を活用した農業・農村の活性化等、馬という資源(たから)を活用する馬の街「十和田市」をこれからも注目してもらいたい。

ところでこの馬絵巻の模様はYouTubeで閲覧が可能だ。「十和田古代馬絵巻特設サイト」のページにURLを掲載しているので時間のある時に是非ご覧いただきたい。

Friday Amusement Negative Shop

○FANS882'~886回 「だべり場2011.01」 1/7,14,28 19:30start 1/1,8,15,29 14:00start 入場無料:夢を語る場です

演劇空間

スペースベン

■八戸市柏崎1-11-8
TEL. 0178-43-9876
FAX. 050-3588-8350
携帯. 080-6025-0990

※特別番組以外全て午後7時30分～、料金/一般前売400円 高校生以下100円(当日100円増)
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

HP <http://spaceben.com/>

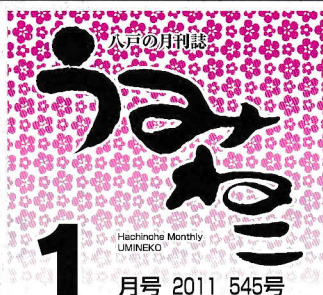
Eメール owner@spaceben.com

1月号好評発売中!

新春テーマエッセイ

お宝

左館秀之助/佐々木夏奈子/ニッ森護真
福田奈穂子/鈴木 聡/及川 真実
大黒 裕明/高橋 寛子/熊野 悦郎
館 光子



新春インタビュー

版画家

藤田 健次さん(71歳)に聞く

読む楽しみ 読物満載

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所/うみねこ出版社
八戸市六日町10 いわとくパルコ3F
TEL・FAX 0178-44-6636